

ウェルビーイングについて

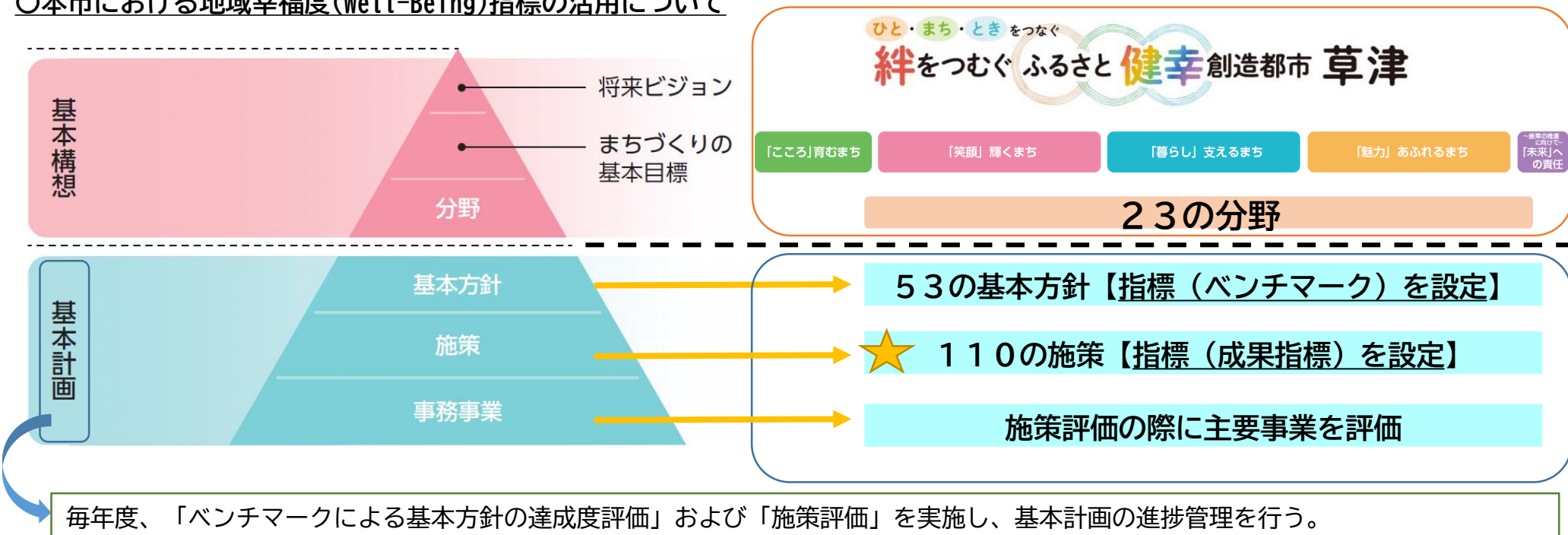
○地域幸福度(Well-Being)指標について

地域幸福度(Well-Being)指標とは、主観指標と客観指標のデータをバランスよく活用し、市民の「幸福感(Well-Being)」と「暮らしやすさ」を数値化し、可視化するためのもので、デジタル庁が全国の自治体での活用を推進している共通指標である。

主観指標は、アンケートで集めたデータをもとに、主観的な「幸福感(Well-Being)」を可視化するもので、客観指標は、国等が実施する各種統計調査のオープンデータ等から、客観的な「暮らしやすさ」を可視化するものである。

これらの指標を活用することで、市民の視点から「暮らしやすさ」と「幸福感(Well-Being)」を数値化・可視化することができ、行政の取組が市民の暮らしやすさや幸福感に繋がっているかを確認すること等が可能となる。

○本市における地域幸福度(Well-Being)指標の活用について



具体的な活用方法

★「施策評価」において地域幸福度(Well-Being)指標を活用

市の取組全体が「健幸」であるため、概念の近い「Well-Being」を「市民意識調査」に取り入れ、市の取組全体の効果検証を行う形式が最適であると考え、第2期基本計画に地域幸福度(Well-Being)の主観指標と施策の関連を別表で示すとともに、毎年の「施策評価」において、地域幸福度(Well-Being)指標を施策ごとに示すことで、総合計画の進捗を図るうえでの参考指標として活用する。(※目標値は設定せず、経年変化等を確認する。)

ウェルビーイングについて

第2期基本計画への記載について

記載イメージ

(4) 協働について

協働とは、共通の目的を実現するために、多様な主体が責任および役割を分担し、相互の信頼および理解のもと、お互いの特性および能力を持ち寄って連携・協力することで、単独で取り組むよりも大きな成果が期待される取組です。

行政と市民などの役割を明確にし、それぞれが主体的に役割を担い、自分たちの力で課題を解決できない課題については、多々を目標とします。

第1期基本計画では、基本方針ごとに協働を進めます。

「第2期総合計画について」の章に「協働」と「SDGs」の次に、「地域幸福度(Well-Being)」の説明書きを行う。

(5) SDGs について

SDGsとは、先進国を含む国際社会全体の17の目標と169のターゲットで構成される「誰一人取り残さない」を理念とした共通目標であり、本市の総合計画に基づく取組と目指すべき方向性は同じです。

総合計画では、SDGsという世界共通のものさしを用い、多様な主体の強化や目標の共有を図りながら、取組をより一層進めることで、豊かなまちの実現を目指します。

第1期基本計画では、基本方針ごとに協働を進めます。



追加

(6) ウェルビーイングについて

ウェルビーイングとは、………

地域幸福度(Well-Being)指標が、総合計画の進捗を図るうえでの参考指標である旨を「進捗管理および評価について」に明記する。

体系図(別表)イメージ

基本方針No.	まちづくりの基本目標名	分野No.	分野名	基本方針No.	基本方針名	施策No.	施策名	No.	主観指標①	No.	主観指標②	No.	主観指標③	No.	主観指標④
1	「こころ」育むまち	1	人権	01	人権の尊重	①	人権文化の醸成	37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	38	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	39	私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる	41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある
						②	人権の擁護	37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	38	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	39	私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる	41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある
		2	男女共同参画	01	男女共同参画社会の構築	①	男女共同参画社会の推進	40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある				
						②	女性の活躍推進	40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある				
						①	豊かな心と健やかな体の育成	16	私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている						

(9) 進捗管理および評価について

この計画の進捗管理および評価については、以下のとおりとします。

施策体系	計画の進捗管理および評価	
	毎年度	次期基本計画策定年度
基本方針	庁内組織単位の評価・予算編成の基礎へ	次期基本計画の基礎へ
基本方針	●各基本方針の進捗状況の目安として指標の進捗状況を把握し、公表します。 ●各基本方針の重要度・満足度に係る市民意識を把握し、公表します。	●計画期間中の成果や課題、市民意識の推移等を把握し、次期基本計画策定に向けた総括評価を行います。
施策	●施策ごとに事業執行面での分析を行い、達成状況や課題を整理します。 ●すべての施策について、行政の内部管理に基づく評価を行い、公表します。	●計画期間中の評価や環境変化等を踏まえ、施策の構成を再構築します。
事業	●地域幸福度(Well-Being)指標を参考指標として活用します。 評価の中で進捗状況を把握し、次年度予算編成に反映します。	●計画期間中の見直し(スクラップ&ビルド*)を踏まえ、施策体系や財務システムと連動して事業を再構築します。

追加

地域幸福度(Well-Being)の「主観指標」と総合計画の「施策」ごとの関連を示した一覧を別表として添付する。